

1. 平成 29 年の水害被害額の概要

【被害の特徴等】

◆水害被害額は、全国で約 5,360 億円

◆都道府県別の水害被害額上位 3 県は、以下のとおり。

- 1 位：福岡県（水害被害額：約 1,590 億円）
- 2 位：大分県（水害被害額：約 520 億円）
- 3 位：鹿児島県（水害被害額：約 410 億円）

◆主要な水害による水害被害額及び概要

○平成 29 年 7 月九州北部豪雨等（水害被害額：約 1,904 億円）

（平成 29 年 7 月 5 日～13 日に生じた平成 29 年 7 月九州北部豪雨等による被害額）

- ・九州北部では、平成29年7月5日の昼頃から夜にかけて強い雨域がかかり、短時間に記録的な雨量を観測した。
- ・福岡県、大分県では、洪水が大量の土砂や流木とともに氾濫し、甚大な人的被害、家屋被害が発生した。
- ・筑後川水系では、桂川流域にて3箇所^{あかたにがわ}で堤防が決壊したほか、小野地区で大規模な斜面崩壊、赤谷川で同時多発的な斜面崩壊が起きたことにより、大量の土砂や流木が流下し、被害が発生した。



赤谷川の土砂・流木被害（福岡県）

○平成 29 年台風 21 号（水害被害額：約 1,500 億円）

（平成 29 年 10 月 19 日～24 日に生じた平成 29 年台風 21 号による被害額）

- ・静岡県に上陸した台風第21号による影響で、近畿地方を中心に大雨となり、近畿地方では20箇所の観測所で日降水量の年間1位を記録した。
- ・東北から西日本にかけて、国管理河川11水系13河川、県管理河川41河川で被害が発生したほか、1都2府30県で土砂被害が発生した。
- ・本川水位のピークと支川の降雨のピークが重なる等により、和歌山県で1,000棟を超える大規模な浸水や、三重県で拠点病院や主要駅、観光施設の浸水など、大規模な被害が生じた。



伊勢神宮外宮前の浸水状況（三重県）